

自主機能評価指標（2024年12月末現在）

I. 施設の状況

1. 施設の設備

①施設の種別	無床診療所
②病床数	0床
③ペーシエントステーション台数（透析ベッド数）	51床

2. 施設の機能

①準夜透析の可否（21時以降終了）	可
②透析室の終了時間（通常時の最終透析回収時間）	22時30分
③早朝透析の可否（8時以前開始）	不可
④透析の開始時間	8時
⑤長時間透析の可否（5時間以上）	可
⑥オーバーナイト透析の可否（日をまたがる透析で6時間透析以上）	可
⑦在宅血液透析の可否	可
⑧オフラインHDFの可否	可
⑨オンラインHDFの可否	可
⑩CAPDの可否	可
⑪シャント手術の可否	不可
⑫PTAの可否	可
⑬障害者自立支援医療機関かどうか	自立支援医療機関である
⑭処方区分（院内処方・院外処方）	院外処方
⑮腎代替療法実績加算の有無	有
⑯下肢抹消動脈疾患指導管理加算の有無	有

3. 医療スタッフの状況

①透析に関わる医師数	常勤：1名	非常勤：15名
②透析医学会会員の医師数	3名	
③透析専門医の人数	3名	
④透析技術認定士の人数	5名	
⑤透析に関わる看護師数	常勤：11名	
⑥腎不全看護認定看護師の人数	0名	
⑦慢性腎臓病療法指導看護師の人数	0名	
⑧透析に関わる臨床工学技士数	常勤：11名	非常勤：1名
⑨血液浄化専門臨床工学技士の人数	0名	
⑩認定血液浄化臨床工学技士の人数	1名	
⑪透析に関わるメディカルソーシャルワーカーの人数	0名	
⑫管理栄養士の人数	非常勤：2名	

4. 組織体制の状況

①医療安全委員会の有無（災害、感染対策を含む）	有
②事故報告体制の有無	有

Ⅱ. 患者の状況

①外来 HD 患者数	127 名
②外来 PD 患者数	1 名
③外来透析患者に対する後期高齢者患者の比率	29.1%

Ⅲ. 治療指標（外来 HD 患者対象）

①腎性貧血管理（Hb 10.0 g/dL 以上の比率）	81.9%（平均：11.2g/dL）
*ESA 使用量（ESA 製剤エポジン換算 9000U/週以下の比率）	98%（平均：1565U/週）
*ERI【ESA（U/週）/Hb（g/dL）/DW（kg）】9.44 未満の比率	94.5%（平均：2.7）
②フェリチン管理（フェリチン 300ng/mL 以下の比率）	71.7%（平均：235.6ng/mL）
③TSAT 管理（TSAT20%以上の比率）	74.0%（平均：27.8%）
④P 管理（P 6.0 mg/dL 以下の比率）	88.2%（平均：4.7mg/dL）
*補正 Ca 管理（cCa10.0 mg/dL 以下の比率）	98.0%（平均：8.7mg/dL）
⑤PTH 管理（iPTH 240 pg/dL 以下 または WholePTH 150 pg/dL 以下の比率）	85.0%（平均：158.8pg/dL）
⑥透析時間（4 時間以上の患者の比率）	100%（平均：5.3 時間）
⑦透析時間（5 時間以上の患者の比率）	78.0%
⑧透析時間（6 時間以上の患者の比率）	31.5%
⑨透析量（sp Kt/V 1.2 以上の比率）	89.0%（平均：1.82）
*β 2MG 管理（β 2MG 30mg/L 以下の比率）	85.0%（平均：25.1mg/L）